



宮永岳彦記念美術館だより

2026 9月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2

TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室



展示作品より今月の一点



《『ローヤル銀座松坂屋誕生』ポスター下絵》



宮永の下絵や習作は完成度が高く、本作もその中の1つです。学生時代に幅広く絵画の基礎を学んだ宮永は、その後の修練によって培った確かな素描力にも定評がありました。

一見すると、下絵特有の躍動感に満ちあふれた自由な線に見えますが、よく見ると無駄な線は一つもありません。手前の帽子をかぶった女性を大きく描き、そこから奥のデパートへと視線が導かれる大胆な構図が印象的です。宮永の物のかたちを正確に捉える確かなデッサン力と、洗練された構成力がうかがえます。

宮永は線に対して、わずかな線の動きが作風の印象や表情を変えてしまうという繊細さゆえに、強いこだわりを持っていました。1本の線に想いを込めた下絵や習作を通して、線が生み出す多様な世界観や完成までの制作過程、宮永の心の機微を感じ取ることができます。

本作も完成作品には、帽子を被った女性の瑞々しい表情や買い物袋が鮮明に描かれており、好奇心を掻き立てられるような仕上がりになっています。本展では、他にも習作やラフスケッチを展示しておりますので、完成作品と比較しながら筆致が織りなすライブ感をお楽しみください。

1964年 下絵

9月の休館日：7日(月)14日(月)24日(木)28日(月)

市民ギャラリーのご案内

入場無料

10月の市民ギャラリー展覧会の予定

中地区教育文化研究所(絵画)

10月3日(土)～10月4日(日)

提供 tshop (デジタルグラフィックプリント)

10月9日(金)～10月11日(日)

カメラクラブ遊友(写真)

10月28日(水)～11月1日(日)

※ 市民ギャラリーの予約はインターネットで行うようになりました。

※ 予約には事前に利用者登録が必要です。詳しくはHPをご覧ください。



富江夫人から見た宮永岳彦

奥様の富江夫人が宮永に対して語っているほほえましい言葉をご紹介します。

- ★ ベレー帽を常に被り、少々肩をいからせて歩くモダンな人
 - ★ あんなにモダンな人に気に入ってもらえるだろうか？と結婚前はとても不安だった
- ご夫妻の仲睦まじい姿が目に見えます。

ぺんてる坊やの頭は、なぜ平ら？

ぺんてる坊やは、当時の担当者が、ぺんてるらしいオリジナルキャラクターの開発を宮永に依頼して誕生しました。

宮永が「頭を触りやすくした方がかわいいだろう！」と試作型の頭をポンポン触っていたら平たくなってしまったそうです。



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

観覧料 ・一般 300円(弘法の里湯利用者は100円引き)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料
開館時間 ・午前10時から午後7時(入館は午後6時30分まで)